



校長室からこんにちは

宇都宮市立清原中学校



令和2年5月7日
No. 2 文責：塩谷勇直

再度の臨時休業！教職員もみなさんをサポートできるように頑張ります！！

新学期も1ヶ月が経ちましたが、再び、5月31日（日）までの学校の臨時休業。感染症拡大防止のためやむを得ないものですが、生徒のみなさんにとって今年の春は、在宅を強いられ友達には自由に会えず、外出も自由にできず、何らかのストレスや不安をため込んだ状況があることを考えると、教職員の心配も大きいものがあります。（この心配は、生徒に限らず大人にもあることと思います。）こんな時だからこそ、保護者を始めとする家族や教職員によるきめ細かな気遣いが重要になってきます。

＝ストレスや不安などの軽減・解消策＝

生徒のみなさんにとって、思いっきり運動ができて、友達ともたくさん話せて、自由に行動できることが最善の解決策であることは言うまでもありませんが、それができない今、本校では次のような方法で生徒のストレスや不安などの把握や軽減・解消にあたってきます。

① 臨時休業中の生徒個々の状況の確認

これまで実施してきた学級担任からの電話連絡等によって、生徒本人と直接会話したり、保護者から生徒の状況を聞いたりして、本人の状況を確認します。合わせて、今後、課題の配付・返却のため、感染症防止に配慮した短時間の来校の機会に、本人の困っていることなどを確認することとしています。

② ストレスや不安などの把握や軽減・解消に向けての相談

本校では一時登校日の5月7日（木）に「臨時休業中の生活についてのアンケート」を実施し、生徒たちのストレスや不安などを把握し、今後の本人に対する助言に活用していきます。また、学校再開後の6月8日（月）から16日（火）の期間に、生徒のみなさんと学級担任が教育相談を実施し、様々なことについて相談していく予定です。特に、中学校に全く慣れていない1年生にとって大切な時間にしてもらいたいと思っています。

＝当面の授業の遅れなどの解消策＝

肝心の「授業の遅れをどう取り戻すか。」対策です。これについては生徒のみなさんの臨時休業中の家庭学習等に取り組む意欲の向上も期待しつつ、一步一步着実に進めていくことが最良の方法であると考えています。具体的には次のような機会を活用し、出遅れを少しずつ解消していく予定です。なお、1学期中間テストの実施を7月（詳細は後日連絡）に延期して、学校再開後の授業にじっくり取り組んでもらいます。

① 臨時休業中の課題の指導

「こんな時だからこそ、明るく前向きに！」を合言葉に、臨時休業中に出された「清原のとも」「清原のともⅡ」などの課題は、教科担任の先生が確認や添削等を進めます。今後、1週間に1回を目安に、感染症防止に配慮した短時間で、課題の配付・返却の機会を設け、学習状況の把握や簡単なアドバイスをしたいと考えています。来校可能な生徒はその機会を活用してください。また、来校できない生徒についても別途同様の配慮をしていきます。



なお、宇都宮市ではインターネットを利用した学習機会等の準備を進めています。市側の準備が整い次第、本校でもみなさんに活用できるようにしていく予定ですので、今しばらくお待ちください。

② 昨年度の未履修事項の指導

正確に把握されている未履修事項を、計画的に今年度の教育課程に位置付けて着実に履修させていきます。具体的には、6月4日（木）からしばらくの間、これまでの朝の読書の時間などに校内テレビ放送を活用し、学年ごとに昨年度の未履修事項を学年一斉指導型の授業で補っていきます。これに加え、今後の当該学年の授業内容において未履修事項が関連する場合など、意図的に未履修事項の学習に時間を割き、計画的に未履修事項の解消ができるよう準備を整えています。

③ 今年度の学習内容の指導

生徒のみなさんの着実な学習内容の理解・習得を考えると、無暗に効率を考えたり、授業時間数を増やしたりすることは、好ましいことではありません。半面、1学期も1ヶ月半以上経過することになりますので、生徒たちの状況を考えながら授業日数や授業時間数を増やすことが求められます。そこで必要に応じて、次のような対応をしていく予定です。（予定の変更等は前もってお知らせいたします。）

i 夏季休業の大幅な短縮を予定しています。（期日、日数等は宇都宮市教育委員会でも検討中ですので、具

体的な基準が決まりましたらお知らせいたします。)

- ii 通常5時間の水曜日に、6時間授業を実施することがあります。
- iii 残念ながら運動会、春季体育大会等の学校行事などを中止したことから、若干ではありますが授業時間が生まれています。
- iv 授業時間確保のため学校行事などを削減していますが、子供たちの気分転換ができるような昼休み等を活用した楽しい体験活動の企画を進めていきます。

いじめ根絶に向けた学校の対応について（今後も「いじめゼロ」を当たり前に）

今年はコロナウイルス感染症への不安から、体調不良や咳をしている人への過剰な反応や、ソーシャルディスタンス（社会距離拡大戦略：感染症が拡大しないよう他県への出入りや人込みを避けたり、他人との距離を取ったりなど）と仲間外しの混同など、生徒間のトラブルやいじめにつながる状況が生じることが心配されています。

そもそも、いじめは、子供の心身の健全な発達に大きな影響を及ぼすため、未然に防止することが何よりも大切です。しかし、万一、いじめと思われる事案が起こった場合には、早期発見、早期対応が重要になってきます。このため、子供たちの些細な変化を見逃さず、迅速かつ適切に対応するための取組を実施していく必要があります。具体的には、本校では「清原中学校いじめ防止基本方針」に基づいた下記のような様々な取組や対応を実施していますので、生徒本人の申告がなくても、周囲の教職員、友人、保護者を始めとする家族の方などが何らかの心配や異変を感じたら、迷わず学校へご相談ください。なお、「清原中学校いじめ防止基本方針」の全文は、4月23日（木）付けで配付した保護者向け資料に掲載してありますので、ぜひご参照ください。

1 いじめの未然防止に関わる取組や対応

- いじめ根絶集会（6、10月）の実施、いじめ根絶標語・いじめゼロポスター作成、いじめゼロシール着用
- いじめに関するアンケート（年4回）の実施と結果に応じた早急な対応
- 小中一貫の「ちくちく言葉の禁止・ふわふわ言葉の推進」を通して、相手を思いやる心遣いの醸成 など

2 いじめの早期発見に関わる取組や対応

- スタンダードダイアリーの活用
- いじめに関するアンケート（年4回）や教育相談（年2回）の実施と結果に応じた早急な対応
- 教育委員会ネットパトロールの活用や、家庭と連携したネットいじめの早期発見
- いじめ確認時の関係保護者への的確な説明と関係生徒間の適切な人間関係作り など

3 いじめの早期対処に関わる取組や対応

- 校内いじめ等対策委員会を中心とした迅速な事実確認や保護者との連絡などの組織的な対応
- いじめに関係する生徒及び保護者との親密な連絡と指導・助言の実施
- いじめ解消の確認 など

＝ 6月の具体的な取組＝

- (1) 6月17日（水）に、生徒会学年委員会主催でいじめ根絶集会を実施します。この集会では、代表生徒がいじめ根絶宣言を行ったり、各クラスからいじめ根絶のためのスローガンの発表をしたりしてもらいますが、各クラスで学級活動の時間などに「いじめを許してはいけない」という共通認識が真剣にもてるよう、話し合い活動等でみなさんの意見を出し合ってもらいます。
- (3) 6月中旬に「いじめに関するアンケート」を実施します。当然、アンケート前に嫌なことがあったら迷わず先生方に相談してください。即対応します。
- (4) 6月8日（月）から16日（火）の期間に、生徒のみなさんと学級担任が教育相談を実施します。対人関係、学習・生活についてなど様々なことを相談してください。

交通事故ゼロや学校事故ゼロの願い

これまで本校では、ゴールデンウィーク前、ゴールデンウィーク中などに悲惨な事故が起こらないことを願って、交通指導を普段より入念に行うことを目的に交通安全教室を実施してきました。しかし、今年度は実施できなかったのも、ゴールデンウィークに事故が起きないか心配でした。

さて、本校生に限らず、地域の小学生、高校生、大人のみなさんの通学・通勤等での通行状況はどうでしょうか。生徒たちには、登下校の際だけでなく、休日などあらゆるときに、交通マナーやルールを守りながら、加えて「危機を回避する能力」を向上させていく必要があると考えます。大人がふらつく車には車間距離を開けるように、自分が正しくても危険を察知した場合には、待ったり、安全な場所に移動したりするなどの適応力を様々な場面で育てていく必要があります。交通安全に限らず、生活の安全は何よりも最優先ですので、学校のみならず家庭や地域でも日常の安全な生活に必要なことについて遠慮なくご指導願います。

※「清原中学校いじめ防止基本方針」の全文や学校だより「校長室からこんにちは」（カラー版）は本校ホームページでご覧いただけます。ぜひアクセスしてください。

